



つるみごんげんしゃ  
鶴見権現社のイチイガシ林<sup>りん</sup>

火売 火男火売神社（鶴見権現社）

県指定天然記念物（植物）

昭和 50 年 3 月 28 日指定

県指定特別保護樹林

「火男火売神社の森」

昭和 49 年 3 月 15 日指定

市指定生物環境保護地区

「鶴見権現社の自然林」

昭和 52 年 7 月 19 日指定

春木川の上流域にある鶴見権現社の境内林で、拝殿の西側一帯にイチイガシ林が発達している。その西側にはスタジイ林も生育している。昭和 52 年（1977）ごろ、拝殿の南側のイチイガシ林は地温の上昇により枯死し、その後に消滅してしまった。イチイガシ林の構成種はクロキ、カクレミノ、アラカシなどの常緑広葉樹やアオキ、ヒサカキ、ヤブニッケイ、イヌビワ、ジュズネノキなどの低木、マルバベニシダ、コヤブラン、ツルコウジなどの草本である。住宅地として発展したこの地にあって、良好な自然緑地をつくっている貴重な林分である。

（藤内 広三）